

NTC (エムウェーブ) 平成 29 年度氷上時間運用方法について

1. 滑走可能時間帯区分の設定について

区分	滑走可能対象選手
Top & JPN	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア強化選手 ・2017 年度シニアワールドカップ日本代表選手 ・シニア特別強化選手・シニア強化選手 A・ナショナルチームの練習パートナー (要事前申請)
OT	<ul style="list-style-type: none"> ・強化選手 ・平昌オリンピックスピードスケート日本代表選手選考競技会出場者 ・シニア強化選手の練習パートナー (要事前申請)
JC (有資格者)	<ul style="list-style-type: none"> ・強化選手 ・29 年度ジャパンカップ出場有資格者 ・シニア強化選手の練習パートナー (要事前申請)
OG	<ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピック日本代表選手 ・平昌オリンピック日本代表選手の練習パートナー (要事前申請)

2. 補足事項

- ・Top の時間帯は in の in の滑走を許可したり、ポイントを設置する場合がある。そのアナウンスは事前に行う。
- ・練習パートナーの申請について、別途申請書を作成し、提出する。毎日申請する必要はなく、NTC 期間中まとめた申請とする。練習パートナーの国籍は問わない。スピードスケート強化委員会にて申請書提出後 1 週間以内に審議し、許可の有無について決定する。明治北海道十勝オーバル NTC 氷上時間用 (7 月~9 月) として練習パートナーを申請済の場合は、その内容を継続する。また、練習パートナーは原則として対象の強化選手と同グループで滑走することとする。
- ・1 月以降に設定する「OG 時間帯」における平昌オリンピック日本代表選手の練習パートナーの申請方法は、該当者に別途周知する。

NTC（エムウェーブ）トレーニンググループ平成29年度運用方法について

1. 利用可能選手

- ・シニア強化選手
- ・過去にシニアワールドカップ以上のレベルの国際大会に出場経験のある選手
（アジア距離別選手権大会、ユニバーシアード競技大会出場経験者は含まない。）
- ・ジュニア強化選手
- ・高校生以上の日本スケート連盟登録選手
- ・スピードスケート強化部が使用を認めた者

※ 高校生以下の選手は必ず指導者が帯同の上、利用すること。

2. その他

- ・譲り合って利用することを原則とするが、利用の優先順位は前述の利用可能選手の並び順とする。またシニア強化選手の中でも、ナショナルチームの選手、特別強化選手、シニア強化選手 A を特に優先とする。
- ・大会時等の利用については、別途制限が生じる可能性がある。

問い合わせ先：

（公財）日本スケート連盟

スピードスケート強化部 NTC 担当

黒岩彰 紅椽英信

timetrial.ss@gmail.com